

強者の戦略

お久しぶりです、地理の南です。ここ3年くらいは、センター試験の問題を東大用に改題したり、東大の問題を解説してきたりしましたが、今年度はもっと違った大学の入試問題を解説していこうかなと思いました。今回取り上げる阪大は、指定文字数こそ多いですが、大きなテーマで出題され、しっかり教科書を学習していれば高得点につなげられる良問を出題することが多いです。今回の都市と人口のテーマは、有名なメガロポリスという言葉、先進国と途上国の都市化の比較といった典型的なテーマから、「限界集落」という時事用語まで問われていて、良問と言えるでしょう。難易度はそんなに高くはないので、あんまり習っていないくても、教科書や資料集を通読してから解いても大丈夫だと思います。それではがんばってください！

(Ⅱ) 都市と人口に関する次の3つの問い(問1～問3)に答えなさい。 [2014年度 阪大]

問1 「メガロポリス」の定義・事例・形成要因、および、そのような地域で生じている諸問題について述べなさい(200字程度)。

問2 日本の山間地域では人口減少と高齢化によって「限界集落」といわれるような、廃村の可能性が高い集落も出現してきている。こうした廃村のもたらす問題点について多面的に述べなさい(200字程度)。

問3 第二次世界大戦後、発展途上国でみられた、首位都市などにおける都市化について、先進国における都市化と対比しつつ、説明しなさい(100字程度)。